

タイムテーブル

12:30			
13:00			
14:00		観覧 13:00-14:45	
15:00			
16:00		体験 ※要体験チケット ※定員30人・事前予約(先着順) 15:00-17:00	
17:00			
			展示 12:30-17:00
			フォトスポット 12:30-17:00

チケット

入場チケット 一般 1,500円 大学生以下 500円 友の会 1,000円 (全席指定 3歳以下膝上無料)

体験チケット おひとり 500円 (見学は無料) ※体験に参加するには入場チケットも必要です。ご購入の際にはご注意ください。
※定員30人・事前予約(先着順)

SaCLa 友の会 先行販売

発売日 12月13日(金)10:00~

12月15日(日)以降は窓口でも受付ます。

SaCLaインフォメーションセンター販売ページ

<https://p-ticket.jp/saitama-culture>

一般販売

WEBでの
お申し込み

発売日 12月14日(土)10:00~

<https://p-ticket.jp/saitama-culture>



窓口での
お申し込み

発売日 12月15日(日)10:00~

※お電話番号のおかけ間違いのないよう十分にご確認ください。
※窓口ごとに営業日・時間が異なるので事前にご確認ください。
※WEBで完売の場合もありますのであらかじめご了承ください。

さいたま市文化センター048-866-3171	東大宮コミュニティセンター048-667-5604
RaiBoC Hall(さいたま市民会館おおみや) 048-641-6131	西部文化センター048-625-3851
さいたま市民会館いわつき048-756-5151	宮原コミュニティセンター048-653-8558
プラザイースト.....048-875-9933	片柳コミュニティセンター048-686-8666
プラザウエスト048-858-9080	美園コミュニティセンター048-764-8810

※窓口でのチケット引き取りは12月15日(日)より

公演・予約に関するお問合せ SaCLaインフォメーションセンター 048-866-4600

会場

さいたま市文化センター

〒330-0024 さいたま市南区根岸1-7-1

TEL.048-866-3171 FAX.048-837-2572

※電話・FAX番号のおかけ間違いのないよう十分ご注意ください。

駐車場について

137台(有料)1時間以内は無料。1時間経過後、最初の30分は220円。以後30分(30分に満たないときは30分とします)ごとに100円を加算します。(消費税別。ただし10円未満は切り捨て)

※駐車場に限りがございますので、公共の交通機関をご利用ください。

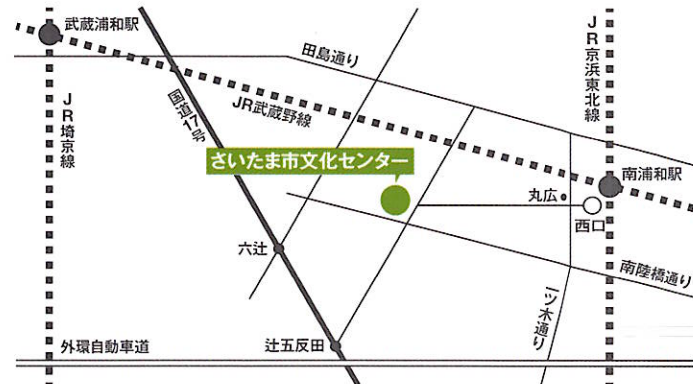


X

Facebook



LINE

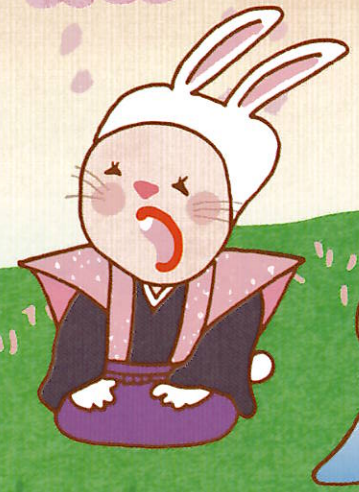


電車でお越しの方 JR南浦和駅西口から徒歩7分

伝統芸能の 宝箱



にっぽんの声に
大注目!



令和7年

3月16日(日) 開場 12:30
開演 13:00

さいたま市文化センター 小ホール

主催：公益財団法人さいたま市文化振興事業団

共催：さいたま市

後援：さいたま市教育委員会

主催：公益財団法人さいたま市文化振興事業団 共催：さいたま市 後援：さいたま市教育委員会

制作：古典空間 イラストレーション：おかめ家ゆうこ デザイン：深澤琢磨

さいたま市文化センター〈小ホール〉が伝統音楽の宝箱に! 知っているようで知らない日本の伝統音楽の“なるほど!”

今回は「にっぽんの声に大注目!」大きな声、やさしい声、きれいな声…さまざまな「にっぽんの声」をご紹介します。第一線で活躍している演奏家のみなさんが、楽しく! おもしろく! わかりやすく! カッコよく! お伝えます。聴いて、見て、ふれて…にっぽんの音楽があなたにグッと近づく1日です!

観覧
13:00-
小ホール

紹介します!“にっぽんの声”

「うた」を唄ったり、聴いたりすることで、私たちの心はワクワクしたり、落ちついたりします。「うた」は昔から、私たちには“なくてはならないもの”なのかも知れません。

ながうた 長唄

江戸時代に生まれた歌舞伎という伝統的なお芝居(演劇)を支え、盛り上げてきた音楽が長唄です。三味線やお囃子の演奏に乗せて唄われる「うた」は、昔からたくさんの人々に愛されてきました。

唄 杵屋佐喜
杵屋和五郎
三味線 杵屋三祿
杵屋五十助
邦楽囃子 若獅子会

みんな 民謡

食べて飲んで、働いて、寝て…あたり前の日々の暮らしから生まれた「うた」が民謡です。日本には数え切れないくらいの民謡があり、人々を元気にしたり、安らげたりしてきました。

津軽三味線ユニット あんみ通
うた/三味線 金田一公美
三味線 安仲由佳

うたを唄う



日本にはたくさんの「語り芸」があります。語り手の「言葉」が伝える”物語を聴いていると、私たちの心の中に絵が浮かんできます。人々は想像の世界を楽しむことが大好きなのです。

ぎだゆうぶし 義太夫節

太夫という語り手が、大型の三味線といっしょに物語を伝える芸能です。江戸時代に大阪で生まれ、人形劇のナレーションの役割をして大人気となりました。文楽や歌舞伎には欠かせない存在です。

太夫 竹本京之助
三味線 鶴澤賀寿

ろうきょく 浪曲

浪曲師という語り手が三味線に乗って、うたったり、セリフを言ったり…まるで1人でミュージカルを演じるような芸能です。明治時代に生まれ、全国的に大人気となりました。

浪曲 国本はる乃
曲師 沢村道世

こうだん 講談

講談師という語り手が、釈台という小さな机を張扇でパンパンと叩きつつ、たった一人だけで物語を伝える芸能です。今回は講談スタイルで司会を担当します。

講談 田辺銀冶



さあ、やってみよう! 楽器体験コーナー

15:00- <吹き物> <弾き物> <打ち物>…施設内の体験ブースをめぐってにっぽんの声を支える管・弦・打楽器を体験しよう!
※別途体験チケット500円
※定員30人・事前予約(先着順)

打ち物



小鼓

吹き物



日本の横笛

弾き物



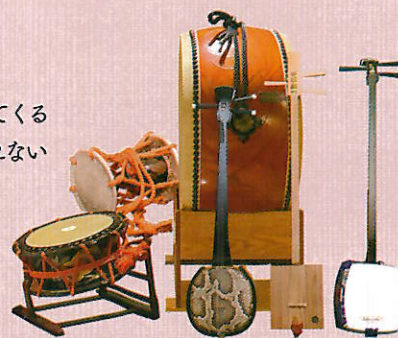
長唄三味線
津軽三味線



身近に見てみよう! にっぽんの楽器

12:30-
ホワイトエ

音楽の教科書にも出てくる楽器から、めったに見られない珍しい楽器まで…
にっぽんの楽器大集合!



体感! にっぽんの語り手

12:30-
ホワイトエ

浪曲、義太夫節、講談…それぞれのステージがホワイトエに! 語り手の気分になって、写真を撮ろう!



きねや さき ながうたうたかた
杵屋佐喜 長唄唄方

長唄佐門家元・七代目杵屋佐吉の次男として6歳で初舞台。玉川大学芸術学科声楽専攻卒業。第11回アジアクラシック音楽コンサートの新人賞を受賞。長唄の唄方(唄役)として国内外の演奏会、歌舞伎、日本舞踊公演、NHK「にっぽんの芸能」「芸能さわみ堂」「ラジオ深夜便」など、舞台やTV、ラジオで活躍中です。



きねや さんろく ながうた しらべ ぎんかた
杵屋三祿 長唄三味線方

1999年生まれの25歳。2歳で初舞台。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業後、大学院で学びました。2021年 皇居にある桃花楽堂で皇族の方々の前で演奏。東音会賞・浄英賞・青山財団賞・同声会賞受賞を受賞しました。2023年 日本舞踊和楽器集団(種) 結成。NHKテレビ、ラジオ、歌舞伎、舞踊会などで活躍しています。



わかじ しちい ほうがくばやし
若獅子会 邦楽囃子

演奏技法を正しく受け継ぐこと、聴いたことのない人たちに伝えること、受け継いだ技法をもとに新しい音楽を作ることなどを目的に、多くの流派を超えて2006年に作られた9人のグループです。文化庁・学校巡回公演事業をはじめとする学校公演、古典曲や新しい曲を披露する演奏会を行うなど、邦楽囃子の新しい可能性を追求しています。



あみみ とも ぶんがく せんせい ぶんがく
あんみ通 安仲由佳/金田一公美 民謡

安仲由佳と金田一公美により1999年に結成。ユニークな活動が熱い注目を集めてきました。親しみやすく味わい深いサウンド、邦楽や伝統芸能の粋を軽々と超えるフットワークで、世代や国境を問わず大好評。訪れた国は25ヶ国に及びます。首相官邸晩餐会における演奏から、TVCM、映画音楽、学校公演まで幅広く活動中。



たけもと きょうこ まだゆうおしたゆう
竹本京之助 義太夫節 太夫

女優活動中に竹本駒之助(人間国宝)の演奏に出会い入門。2006年 国立演芸場で初舞台。2015年 義太夫協会新人奨励賞受賞。2022年 国立劇場主催「明日をにう新進の舞踊・邦楽鑑賞会」に出演するなど、華のある舞台が期待を集めています。文化庁の学校巡回公演事業ほか、普及活動にも積極的に取り組んでいます。



つるざわ かつひこ まだゆうおし しらべせんかた
鶴澤賀寿 義太夫節 三味線方

1996年 義太夫教室第四十八期修了。1997年 竹本駒之助に入門。1998年 国立演芸場で初舞台。2004年 義太夫協会新人奨励賞受賞。「物語としての義太夫節」に着目した解説で、初心者・子供たち、外国人等への普及活動を積極的に行っています。文化庁の学校巡回公演事業に出演。ロシアやアメリカ公演にも参加しています。



くにもと はるの ろうきょく
国本はる乃 浪曲師

三味線を習うために浪曲師・国本晴美を訪ねたところ、「手が小さいので歌から」と言われたことがきっかけで浪曲師になりました。2013年 17歳でプロの浪曲師として初舞台。2023年には国立演芸場主催「花形演芸大賞」の銀賞を受賞。舞台やテレビ・ラジオでも大活躍、本格的な浪曲の担い手として大きな期待を集めています。



さわむら みのぶ さよくし
沢村道世 曲師

2006~2007年、故国本武春主催の三味線ワークショップに参加しました。その後しばらくは民謡の唄と三味線を習うなどしていましたが、あらためて浪曲三味線に興味を持ち、2017年浪曲協会主催の浪曲教室に通い始めます。プロとして初舞台は2021年 木馬亭。浪曲を次の時代に伝えるために、さまざまな舞台を重ねています。



たなべ ぎんじろ しちい こうだん
田辺銀冶 司会/講談

幼い時に「髭の講談師」田辺一鶴に入門しました。高校卒業後、多くの海外生活を経験。帰国後に修行を再開し、2011年に二ツ目、2021年に真打に昇進しました。古典講談と共に多くの新作講談を手がけ、講談を今に伝えるため、ナレーションなど講談以外でも言葉をベースにしたさまざまな試みに積極的に挑んでいます。